



キヤノンMJグループの 持続的成長に向けて

2024年1月29日

キヤノンマーケティングジャパン株式会社
代表取締役社長
足立 正親



- 2022-2025中期経営計画では、2025年までの取り組みについてお伝えしました。
- ここからは、持続的な成長に向けた取り組みについてお伝えします。

キヤノングループ企業理念「共生」

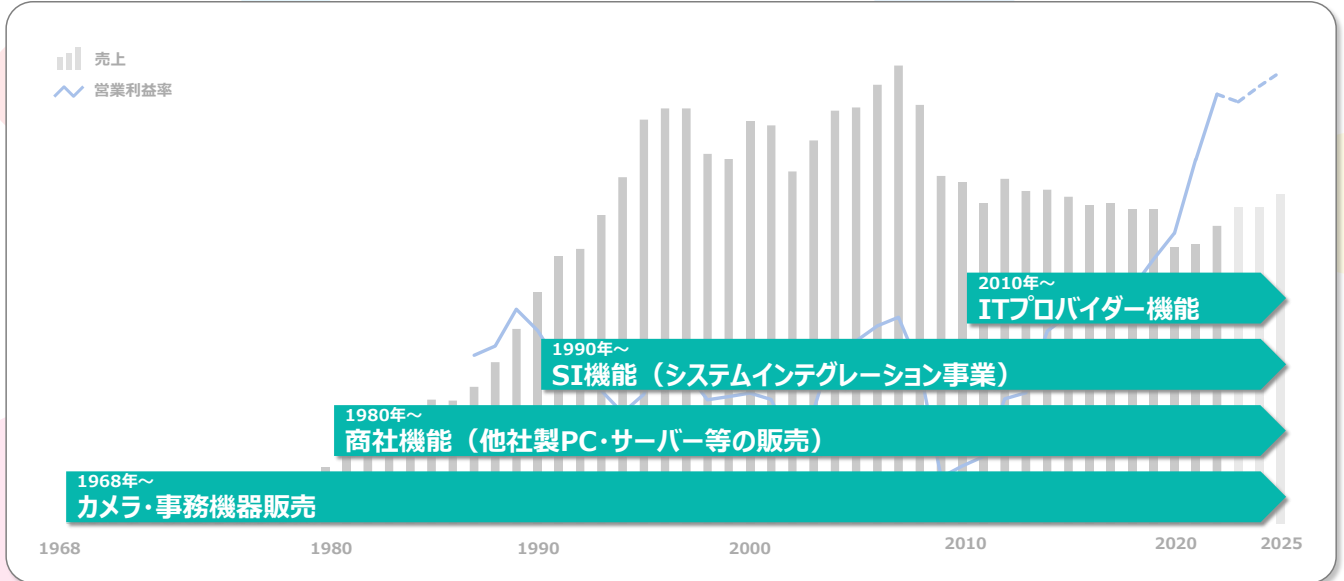


Canon キヤノンマーケティングジャパングループ

- キヤノンMJグループは、1988年より、キヤノングループの理念である「共生」のもと、文化、習慣、言語、民族等の違いを問わず、すべての人類が末永く共に生き、共に働き、幸せに暮らしていける社会の実現を目指してきました。
- 「共生」の実現そのものがサステナビリティ経営と考えており、この考えは今後も変わりません。

キヤノンMJグループの進化の歴史

- ▶ 「顧客主語」に基づき市場の声を聴き、
我々のDNAである「進取の気性」を発揮して先を見通し、進化してきた。



Canon キヤノンマーケティングジャパングループ

- 当社が誕生してから今年で55年が経過しました。
- 日本国内の市場を担当する当社グループは、「顧客主語」に基づき市場の声を聴き、我々のDNAである「進取の気性」を発揮して先を見通しながら進化してきました。
- 結果として、先ほどの中期経営計画でもお伝えした業績を残してきました。

複雑化・深刻化する社会課題



- 足元では、社会課題の複雑化・深刻化はますます速度を上げて進んでいます。
- そこで、これまでの55年を振り返り、今後の50年を考えました。
- 変化の速度が加速し不確実性が高まる中、キヤノンMJグループは、多様なステークホルダーとともにより広範な未来の社会課題を解決し続けていくことを決めました。



未来マーケティング企業

Canon キヤノンマーケティングジャパングループ

- その決意にあたり、キヤノンMJグループを象徴する表現として「未来マーケティング企業」を宣言します。
- 「未来マーケティング企業」として常に未来を見据え、「共生」の理念のもと、キヤノンMJグループとしての社会的な存在意義を明示することが、グループ社員の志を一つにするとともに、ステークホルダーの皆さまとの共創・協業をより一層進め、社会課題解決を加速していくために必要だと考え、キヤノンMJグループのパーパスを制定することにしました。

キヤノンMJグループ パーパス



想いと技術をつなぎ、
想像を超える未来を切り拓く

- 制定したパーパスは、「想いと技術をつなぎ、想像を超える未来を切り拓く」です。
- 「想い」：お客さまの「想い」を大切にします。
私たちキヤノンMJグループ自身の内発的な原動力も大切にします。
- 「技術」：テクノロジーに加え、ノウハウや知見にあたるものも含まれます。
多様なビジネスパートナーが持つものも含まれます。
- このパーパスのもと、社内外の同じ志をもった方々と、従来にとらわれない新しいものを
生み出し、想像を超える未来を切り拓いていきたいと考えています。



想いと技術をつなぎ、
想像を超える未来を切り拓く

- そこで、パーパスに込めた想いを、よりしっかりとお伝えできるように動画を作成しましたのでご覧ください。
- このパーパスに向かい、社員が心を一つにし、多様なステークホルダーとともに社会課題解決に取り組んでいきます。

社会課題解決に向けたアプローチ

現在

フォアキャスト

社会課題解決

バックキャスト

未来

都市部への人口集中

食糧不足

生態系破壊

少子高齢化

人口減少

インフラの老朽化

画一的な学校教育

気候変動

長時間労働

- ここからは、パーパスの実現に向けた具体的な取り組みをご説明します。
- キヤノンMJグループは、2026年以降の持続的な成長に向けて、フォアキャストによる既存事業の拡大とあわせて、より複雑化・深刻化する社会課題を起点としたバックキャストにより、新しい領域への取り組みを強化し、社会課題の解決に取り組んでいきます。

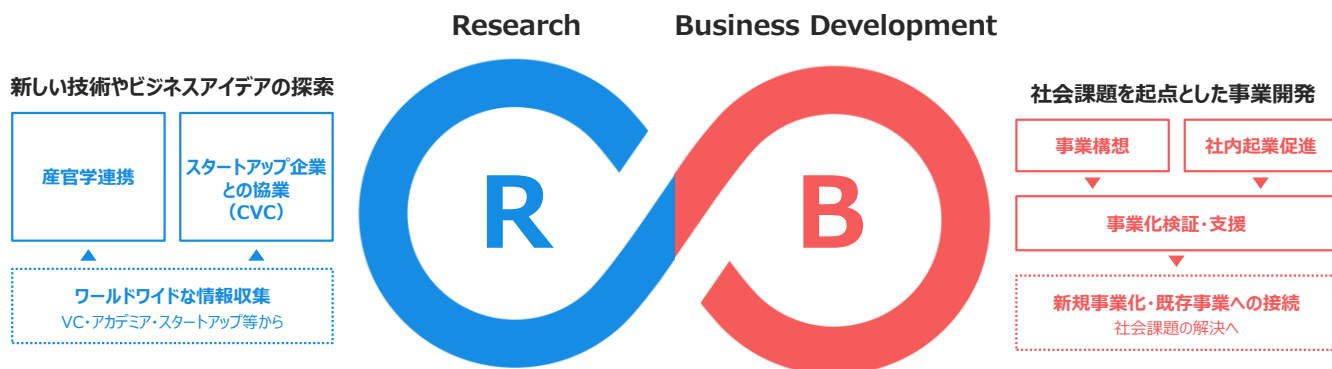
社会課題解決に向けたアプローチ



- そのエンジンとなる具体的な機能として、R&B（Research & Business Development）すなわち探索機能と新しいビジネスを創造する機能を担う専門組織をこの1月より立ち上げ、社内外から多様な経験やスキルを持ったメンバーを集結させました。
- R&B部門は、常に未来志向で新しい領域にチャレンジしていく専門組織です。
- 例えば、ヘルスケアテックやフードテックといった、キヤノンMJグループの既存事業の延長線上ではない新しい領域にチャレンジしていきます。

R&Bの取り組み

技術とニーズをつなげ、オープンイノベーションにより新たな事業を創出する



スタートアップ企業の皆さまとともに より良い未来を創造するために
コーポレートベンチャーキャピタルファンドを設立

Canon キヤノンマーケティングジャパングループ

- 次にR&B機能の具体的な取り組みについて説明します。
- リサーチ機能では、事業開発機能を強化するため、産官学との連携やスタートアップ企業との協業等、新たな仲間との取り組みを通じて、ワールドワイドにオープンイノベーションのネットワークを構築し、新たな事業のもととなる技術やビジネスアイデアを探索します。
- ビジネスデベロップメント機能では、これまで培ってきた我々のアセットとともに、オープンイノベーションのネットワークを活用し、未来志向で社会課題を起点とした新しい領域のビジネス創出に取り組めます。
- 一方で、ビジネスの親和性やリソース活用の観点から、既存事業と接続することにより、既存事業の拡大にもつなげていきます。
- 両機能をあわせて行うことで、グループ全体の事業創出機能を強化することが、R&Bの専門組織を立ち上げた大きな狙いです。
- キヤノンMJグループでは、これまでもベンチャーキャピタル投資やM&A、他社との共創等を通して、オープンイノベーションを推進してきました。
- しかしながら、これまでの取り組みをより加速し、複雑化・深刻化する社会課題に対応していくためには、より広い視点で仲間づくりを進めて行く必要があります。
- そのような背景から、より広く、より深く、スタートアップ企業の皆さまと対話させていただき、皆さまとともにより良い未来を創造するために、このたびコーポレートベンチャーキャピタルファンドを設立します。

コーポレートベンチャーキャピタルファンドの設立

Canon Marketing Japan MIRAI Fund

Canon キヤノンマーケティングジャパングループ

- ファンド名称は「未来のマーケット創出を加速する」という思いから、「Canon Marketing Japan MIRAI Fund」としました。



人の視点
Well Being



Life Purpose

精神的な豊かさを通じて、誰もが健康で
生きる活力を感じられるサービスの創出



Work-in-Life

空間と時間の制約をなくし、誰もが
楽しめるワークインライフの実現



Human Potential Enlargement

人間が持つさまざまな能力を拡張することにより、
誰もが自分に合ったライフスタイルを追求できる社会の実現



産業の視点
Business Transformation



Emerging Industries

社会の課題解決を実現する革新的な
技術を用いた新たな産業の創出



Regional Regeneration

地域価値の可視化・再認識と、
地域発の事業の創出

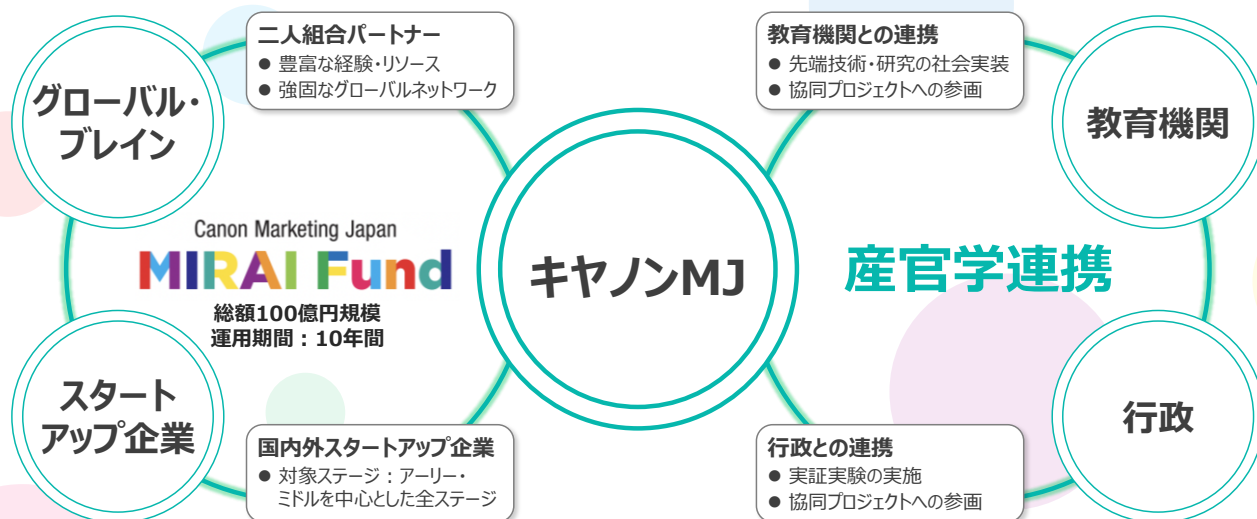


Business Revitalization

共創による既存の産業構造の破壊と、
新たな競争力の創出

- 投資領域を検討するにあたり、既存事業の領域に縛られることなく、未来志向で社会課題を想定し、私たちが創りたい世界観を大量にアウトプットしました。
- その結果として、「人の視点」と「産業の視点」という大きく2つの視点に整理するに至りました。
- これまでキヤノンMJグループは、BtoC市場・BtoB市場において、マーケティングの力により、社会課題を解決し、新しい市場を開拓してきました。
- この2つの世界観は、これまでにキヤノンMJグループが培ってきたマーケティング力、組織能力を活用し、新しい市場にチャレンジしていくうえでも、最適なものであると考えています。
- Canon Marketing Japan MIRAI Fundでは、この2つの視点で6つの投資領域を設定し、関連する最新の技術やビジネスアイデアを持つスタートアップ企業に広く投資を行い、未来の社会課題を起点とした事業創出に向けて協業を推進していきます。
- 例えば「人の視点」においては、パーソナライズな健康や医療の実現に向けてヘルスケアテック領域に取り組むスタートアップ企業との連携を検討していきます。
- また「産業の視点」においては、食産業の活性化に取り組むフードテック領域のスタートアップ企業との連携を模索していきます。
- これらの投資領域は定期的に見直しを行い、常に未来志向で社会課題の解決につながる新規事業を創造し続けていきます。
- ぜひとも、志を同じくするスタートアップ企業の皆さまと、手を取り合って社会実装を推進していきたいと考えています。

オープンイノベーションの推進



ステークホルダーの皆さまとオープンイノベーションを推進し
希望や喜びに満ちた未来をともに創造していきたい

Canon キヤノンマーケティングジャパングループ

- Canon Marketing Japan MIRAI Fundでは戦略リターンを重視し、新規事業創出につながるスタートアップ企業にスピーディーに投資するとともに、ファンド運営に関しては専門家に支援いただくことを目的として、二人組合形式を選択しました。
- パートナーとして、豊富な経験とリソース、強固なグローバルネットワークを持つグローバル・ブレイン様に参画いただきます。
- 国内外の全ステージのスタートアップ企業の皆さまと協力し、キヤノンMJグループの顧客基盤や販売チャネルといったアセットを活用し、社会実装に向けた取り組みを推進していきたいと考えています。
- より広くオープンイノベーションを推進するために、産官学連携にも取り組みます。大学等の教育機関や行政との連携を通じ、持続的な社会の実現に向けた新しい技術の社会実装や、潜在的な社会課題へのアプローチをともに進めていきます。
- 現在、東京大学との協同研究プロジェクトにおいて、東京都とも連携したイノベーション促進の取り組みを進めています。内容については追ってご案内するのでご期待ください。
- 新たな領域へ挑戦していくに際しては、多様な人材の活躍が鍵になると考えています。
- キヤノンMJグループでは、これまでも社内起業プログラムや、ベンチャーキャピタルへの社員出向によるキャピタリスト育成等を通じて、イノベーション人材の育成に注力してきました。
- また、多様なキャリア・経験を持った人材の外部からの採用も強化しています。
- 今後は、より一層イノベーション人材の育成に注力するとともに、これまで以上にスタートアップ企業の皆さまとの対話や産官学連携の取り組みを推進することで共創の輪を広げ、希望や喜びに満ちた未来をともに創造していきたいと考えています。

未来マーケティング企業



想いと技術をつなぎ、
想像を超える未来を切り拓く

Canon キヤノンマーケティングジャパングループ

- これからのキヤノンMJグループに、ぜひご期待ください。
- 私からのご説明は以上となります。ありがとうございました。



参考資料



キヤノンMJグループ パーパス / ストーリー / シンボルマーク

パーパス

想いと技術をつなぎ、
想像を超える未来を切り拓く

シンボルマーク



パーパスを象徴的に表したマーク。
さまざまな想いと技術を、
大きさや色の違う一つひとつの輪で
多様性とともに表現している。
それらがつながり続けていくことで、
新しい未来が無限に循環していくことを
イメージしている。

ストーリー

ひとが想像する未来はそれぞれ異なる。そこには想いがある。

その想いを実現するため、私たちが常に大切にすること。

それは、お客さまに寄り添い、
多様なパートナーとともに様々な技術をつなぎ、
期待に応える価値を創造し続けること。

私たちはお客さまの歩む先々にまで想いを馳せ、自らを磨き続け、
生み出す技術とひとの力で不可能と思われることにも挑戦する。
そして、真の願いに応える価値を提供することで
希望や喜びに満ちた未来を切り拓いていく。

すべては想像のその先の景色をお客さまとともに見るために。

キヤノンマーケティングジャパングループ パーパス
「想いと技術をつなぎ、想像を超える未来を切り拓く」

ステークホルダーとともに

▶「社会的存在意義」であるパーパスを明示することにより、自社に更なる磨きをかけ、ステークホルダーの皆さまとともに解決できる社会課題の幅を広げる

キヤノンMJグループ

社会

複雑化・深刻化する社会課題への対応

社会的存在意義

未来マーケティング企業

パーパス



従業員



お客さま



ビジネス
パートナー



株主
投資家



教育
研究機関



学生



官公庁
自治体



NGO
NPO



地域・社会

Webサイトのご案内

- パーパス



<https://corporate.canon.jp/profile/vision/purpose/>

- R&B



<https://corporate.canon.jp/profile/management-strategy/rb>

- CVC



<https://corporate.canon.jp/profile/management-strategy/rb/mirai-fund>



Canon

キヤノンマーケティングジャパングループ

